

# 月報 シオン山

2023年9月3日発行 (No396)

\*\*\*\*\*

## 日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

\*\*\*\*\*

### 【月間聖句】

わたしは、あなたたちと、そして後に続く  
子孫と、契約を立てる  
(創世記9章9節)

感謝(財務に関わって)

安武由美子

私がバプテスマに与かった時 故大石力生先生から「少なくとも10年間は教会に続けて来ましょう・・・」と聖書の裏表紙に記して下さいから28年になります。

以前は何も分からないままに多くのご奉仕をさせて頂きました。しかし近年は、健康の為最小限に避けようと考えている私に神さまから大事なご奉仕を与えられ捕えて下さったように思います。「主は人の一歩一歩を定め御旨にかなう者を備えてくださる。」詩編37章22節の聖句が思い浮かびます。

私は財務部ではありませんが「教会創立 100 周年記念事業献金を我が家の前の郵便局に入れてきて欲しい！」ということから引き受けそのまま献金の集計・帳簿・台帳への記載などの自分の出来る範囲内でのお手伝いをさせて頂くようになりました。

ところが1年4か月前財務部長であられる藤田恒姉が病に倒れられ入院なされたことで、突如今まで年末調整や確定申告は会計士に依頼して行っていた私が早いご快復をお祈りしつつ退院されるまで財務を引き受けざるを得なくなりました。色々確認をして頂きながら夢中にしていく中で一ヶ月が過ぎた頃、税務署に税金の手続きに行くことになり緊張し落ち着かない日々が続きました。そこで時間をとり木曜日の祈祷会に一ヶ月出席し、み言葉を与かり共に祈り合って頂きました。感謝でした。「どんなことでも思い煩うのはやめなさい。何事にも感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。」フィリピ4章6節の聖句を糧に祈り、無事手続きが終えた時の安ど感は今でも忘れられません。(幸いにも2kg痩せました。)

その後1月末に藤田小四郎兄が病に倒れられ、入院、手術をされ皆で神さまに祈り続け2週間後に(完治ではありませんが)退院された時はホット肩をなでおろしたものでした。それから恒姉は入院から10カ月後、神さまに委ね、祈り、懸命のリハビリをされ退院なされ時は、本当に喜び感謝致しました。

今回、財務に関わることで色んな事に気付かされました。お一人お一人が献金をされる前に献金袋の記述漏れや入れ忘れがないか確認される気遣いと、集計する側は皆さまからの大切な神さまへのお献げ物ですから、丁寧に間違わないように数人で取り扱うことで相互作用によって集計がスムーズにできます。その後、翌日から銀行、郵便局へ預け金を入れ、通帳の引き落としや振り込み(送金)などの確認を行い、月間年間の収支決算などの庶務の多さに大変なご奉仕をなされておられたことを痛感致しました。だからこそ献金を真摯に受け止め、謙虚に大切に有意義に使われることを望みたいと思います。「知る力と見抜く力とを身に着けてあなたがたの愛がますます豊かになり本当に見分けられるように。」フィリピ1章9・10節

財務部で少しでも協力出来ましたことに喜び感謝を憶えます。

最後に教会が無牧師となった今、失われたもの(伊藤光雄牧師のお働き)は大きく今さらながら感謝の思いと共に悔やんでなりません。招聘委員会の方々のお働きと共に祈りをもって早く牧師先生がお迎え出来ますように神さまからの豊かなお恵みを心からお祈り申し上げます。